

平成 29・30 年度 土木学会複合構造委員会 第 11 回幹事会議事録

日 時：平成 30 年 12 月 14 日（金）14:00～17:00

場 所：土木学会 F 会議室

出席者：西崎委員長，下村副委員長，溝江幹事長，夫久保幹事，葛西幹事，川端幹事，北根幹事，
齊藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，平幹事，滝本幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，
広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，杉岡事務局

配付資料：

- 幹 11-0 平成 29・30 年度複合構造委員会第 11 回幹事会議事次第
- 幹 11-1 平成 29・30 年度複合構造委員会第 10 回幹事会議事録（案）
- 幹 11-2 平成 30 年度委員会予算執行状況
- 幹 11-3 第 7 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム報告
- 幹 11-4 第 2 回日中シンポ 報告
- 幹 11-5 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造
- 幹 11-6 出版関連報告
- ~~幹 11-7 書籍英訳化 状況報告~~
- 幹 11-8-1 複合構造の継続教育委員会設立趣意書（案）
- 幹 11-8-2 複合構造委員会運営細則_H31.1 改正案
- 幹 11-9 プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会の設立
- 幹 11-10 平成 31 年度重点研究課題（研究助成金）の募集
- 幹 11-11 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹 11-12 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹 11-13 H106 FRP による補修・補強指針作成小委員会
- 幹 11-14 H107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会
- 幹 11-15 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 幹 11-16 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
- 幹 11-17 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹 11-18 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹 11-19 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- 幹 11-20 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹 11-21 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会
- 幹 11-22 平成 29・30 年度複合構造委員会第 4 回委員会議事次第
- 幹 11-23 次回幹事会のスケジュール案
- 幹 11-24-1 JSCE2020 におけるアクションプランのご提案について（依頼）
- 幹 11-24-2 JSCE2020 におけるアクションプランのご提案について（依頼）

議事内容：

1. 委員長挨拶

開会に先立ち，西崎委員長より挨拶があった。

2. 複合構造委員会第 10 回幹事会議事録案確認（資料 幹 11-1）

溝江幹事長より資料に基づき説明があった。以下の点を修正の上で承認された。

- 1) 委員交代：時期→次期

3. 平成 30 年度委員会予算執行状況（資料 幹 11-2）
溝江幹事長より資料に基づき説明があり，各小委員会の今後の予算の執行予定を確認した。

4. 第 7 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム報告（資料 幹 11-3）
溝江幹事長より資料に基づき説明があった。今回のシンポジウムは過去の FRP シンポジウムの中で最も多い参加者（JICA 研修者含む）との報告があった。来年度の複合構造シンポジウムは，土木学会主催で 11 月 14，15 日に開催予定。

5. 第 2 回日中シンポ 報告（資料 幹 11-4）
溝江幹事長より資料に基づき，10 月 24 日～28 日に同齊大学にて日中シンポジウム及び IABSE 若手エンジニアコロキウムが開催されたことが報告された。

6. 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造（資料 幹 11-5）
橋本幹事より資料に基づき説明があった。特集号の今後の予定に関して，登載可通知は昨年度定めた 3 月 20 日ごろだと，日程的に厳しいので，3 月 10 日ごろにしてほしいとの意見があった。

7. 出版関連報告（資料 幹 11-6）
溝江幹事長より資料に基づき説明があった。全体的に大きく変わったものはなく，いくつか原価回収部数に達していないものがある。また，出版委員会より，出版物の発刊が年度をまたいでしまう場合の手続きをルール化する旨の連絡があり，次年度以降（現時点では防水排水委員会），対応が必要になるとの報告があった。

8. 書籍英訳化 状況報告（資料 幹 11-7）
溝江幹事長より，年内には，英文のチェック作業を終える目標との報告があった。

9. 継続教育小委員会の設立（資料 幹 11-8）
中村幹事より資料に基づき説明があった。次の親委員会で本小委員会の内容を審議する予定で，幹事・委員はほぼ決まっているが，まだ不確定の人もいる。また，他の委員会では継続教育という名称なので区別を図るため，組織名は「複合構造の継続教育小委員会」とした。さらに，設立趣意書のなかでいくつかの指摘事項があり，修正する方針となった。

10. プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会の設立（資料 幹 11-9）
斉藤(成)幹事より資料に基づき説明があり，本小委員会の委員長と幹事長の承諾は取れているが，委員は未定で，次の親委員会までに決める予定。

11. 平成 31 年度重点研究課題（研究助成金）（資料 幹 11-10）
溝江幹事長より資料に基づき説明があった。今年度の重点課題を実施中であるので，幹事会から提案するのは厳しいとの意見があり，各小委員会からテーマを募集することとなった。いくつか提案があった場合，一つの委員会から数件出しても大丈夫とのこと。

12. 小委員会報告審議
 - ・H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹 11-12）
斉藤(成)幹事より資料に基づき説明があり，1 月に幹事会を実施する予定との報告があった。

- ・H106 FRPによる補修・補強指針作成小委員会（資料 幹 11-13）

中村幹事より資料に基づき説明があった。委員会活動は終了しており、今後は講習会の地方開催や土木学会論文集への報告書が残っている。また、次の親委員会で終了報告が必要であるとの意見があった。

- ・H107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会（資料 幹 11-14）

溝江幹事長より資料に基づき説明があり、第2回小委員会を11月に大分で開催したとの報告があった。

- ・H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会（資料 幹 11-15）

牧幹事より資料に基づき説明があった。これまでに委員会が4回開催され、課題の抽出が行われた。予定通り1年間で委員会を終了するつもりで進めていくが、小委員会1回分くらいの延長がある。

- ・H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会（資料 幹 11-16）

溝江幹事長より資料に基づき説明があり、沖縄で追加試験を開始したとの報告があった。残り8ヶ月で報告書を執筆し、4月末までに1次原稿を完成させる予定。

- ・H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（資料 幹 11-17）

川端幹事より資料に基づき説明があった。第1期委員会終了し、1月22日の午前に報告会を開催する。報告書はPDFで公開するとの報告があった。

- ・H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹 11-18）

溝江幹事長より資料に基づき説明があり、10月に委員会が開催され、現在、ブラインド評価の解析を実施中との報告があった。

- ・H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会（資料 幹 11-19）

溝江幹事長より資料に基づき説明があった。2019年5月で委員会終了予定だが、2期目には入ることはないとの報告があった。また、報告書の作成に若干の延長はあるとのこと。

- ・H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会（資料 幹 11-20）

橋本幹事より資料に基づき説明があり、11月に第5回委員会を行なったとの報告があった。第6回小委員会を2月～3月に開催予定。

- ・H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会（資料 幹 11-21）

溝江幹事長より説明があった。11月に第2回小委員会を実施したとの報告があった。次回は2月に実施予定で、次の小委員会までは話題提供を行い、次々回からはWGに分かれて活動をする予定。

14. 第4回委員会議事次第（資料 幹 11-22）

溝江幹事長より資料に基づき、次回委員会の議事予定の概要の説明があった。

15. 次回幹事会（資料 幹 11-23）

溝江幹事長より資料に基づき説明があり、次回の幹事会は3月1日、2日に沖縄で開催予定との報告があった。

17. その他

- ・ JSCE2020 におけるアクションプラン

溝江幹事長より資料に基づき説明があった。概要としては、土木学会の中期目標に対する具体的な研究プランを提案し、採択されると1件あたり年間500万円程度の予算を配分する予定で、4～5件を採択予定である。また実施期間は最長で5年間。本件に関して複合構造委員会として応募することとなった。他の委員会にも声をかけて、以前重点課題に応募した300年曝露試験に関するテーマで応募する方針となった。

- ・ FRP 水門設計施工指針（案）の英訳版

西崎委員長より、FRP 水門設計施工指針の英訳版の要望があるとの報告があった。小委員会を設置せずに複合幹事会で監修してはどうかという意見があった。

以上

(記録：橋本)